

野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館 指定管理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成30年2月6日（火）午後2時45分から午後4時5分まで
開催場所 野田市役所5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、行政管理課長、
管財課長、生涯学習部長、社会教育課長
欠席委員 無し
事務局 社会教育課、行政管理課

1 開会

<委員長より開会の言葉>

2 議事

平成29年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成30年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局より平成29年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成30年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書2ページの数値目標について、野田公民館の利用人数は目標の109.51%に対して、利用料金の達成度は80%弱となっているが、その理由を教えてほしい。
- 野田公民館のリフレッシュルームは、従来水曜日と土曜日にインストラクターを配置していたが、今年度から毎週月曜日にもインストラクターを配置し、ストレッチタイム、フロアエクササイズを実施している。これらの講習の受講者が増加したことにより、昨年同時期に比ベストレッチタイムで3,060人、フロアエクササイズで2,028人利用人数が増加している。リフレッシュルーム利用者には、利用に際し月額利用料を徴収しているが、利用者の新規登録が特に増加した訳ではないこと、また野田公民館の他の部屋の利用料金が昨年との比較で若干の伸びに留まっていることから、4月から12月までの利用料金の達成度は通年の目標数値の75%に近い79.05%となっている。
- 継続利用者に好評だったということだが、新規利用者が増加するようなPRをしてほしい。

- リフレッシュルームの新規登録者を増やすために、健康に関する講座を考えている。
- 業務計画書のどこに書かれているのか。
- 今後、講座を企画したいと考えているので、記載はしていない。
- 健康づくりのためのプログラム実施と重点目標の1つに書かれている。そもそも5つの目標があるが、それは29年度と違いがあるのか。
- 同様である。平成28年度から32年度の指定管理者応募時の事業計画書に記載しており、5年間の重点目標とするものである。

- 業務報告書2ページの数値目標について、利用件数、利用人数、利用料金の達成度が75%に満たない箇所の原因と、その改善策を教えてください。
- 文化会館については、10月に開催した産業祭が台風の影響で昨年度と比べ21,000人来場者が減少したために、利用人数の達成度が低くなっている。利用件数については、1月から3月は特に利用が多い時期となっており、この時期で60件以上の利用が見込まれることから、ほぼ目標数に近い数字になるものとする。
- 中央コミュニティ会館は、和室の利用が減少している。和室での事業を取り入れつつ、椅子を配置した利用について取り組んでいきたいと考えている。
- 小ホールは、利用していた団体の一部が活動を休止したことや幼稚園の発表会が文化会館に移行したことから、利用が若干少なくなっている。今後、平日の利用を確保していくために、学校、幼稚園、保育園、会社の研修や集会に利用していただけるよう働きかけていきたいと考えている。
- 2月と3月に文化会館の利用が多い理由を教えてください。
- 1月末から2月にかけては、保育園の発表会での利用が多く、3月は中学校や高校の定期演奏会などで多く利用される。
- 小ホールの件数、人数が60%台と少ないのと、利用料金も70%と落ち込みが激しいようだが、学校、幼稚園、保育園、会社の研修や集会に利用してもらうよう、実際どのように働きかけていく考えなのか。
- 現在利用している方を通じて、関係をつなげていきたいと考えている。
- 数値目標に対して達成度75%というのは、利用件数、利用人数、利用料金のどれで見るのか。
- それぞれである。

- 業務報告書18ページの研修への参加の記載について、実績と計画では表記が異なる。同じ研修であれば、表記を統一すること。
- 修正する。

- 業務報告書35ページの屋上消防系貯水槽漏水の原因が確認できないとのこと

- とであるが、漏水が続いているということか。何か対応をしているのか。
- 現在消防用貯水槽のバルブを閉め、漏水を止めている状況である。今後は財政課と協議の上、漏水調査を実施したいと考えている。
 - バルブを閉めているとのことだが、有事の際でも使えるということか。
 - 屋内消火栓用配管内に空気が入っている可能性があるが、火災時に消火栓ポンプを起動すれば、屋内消火栓は使用できると考えている。
 - 業務報告書36ページで「駐車場整理員の態度が悪い」という苦情について、具体的に内容を教えて欲しい。
 - 駐車する場所について聞かれた時に、聞いてきた人の方を向かず、指で「向こう」という態度をとったというものである。
 - 過去にも駐車場整理員の対応が良くないという苦情があったが、その都度注意をして改善をしているのか。
 - 平成27年度までは、市が直接シルバー人材センターに業務委託をしていたが、しばしば苦情があった。その都度シルバー人材センター事務局に改善を申し入れていた。平成28年度から指定管理者の業務としてからは、苦情はほとんどなくなっている。
 - 「誤解を招かないよう注意した」とあるが、誤解であったということは、毎月の報告時の打ち合わせでしっかり話し合いがされていないことになる。今後、しっかり話し合いをしていくこと。
 - 業務報告書41ページの施設の利用状況報告で、大ホールの利用者数が前年比82%と低いが、利用件数は変わらないということでのよいのか。
 - 昨年10月の産業祭の利用者数が台風接近の影響で減少した。利用件数は1月から3月は特に多く利用されるので、年間を通せば昨年並の件数となると考えている。
 - 業務報告書59ページの自主事業報告書中、8月20日開催の「落合恵子朗読とお話の世界」について、参加者が4割程度となっている。落合氏は中高齢者層に比較的認知度があると思っているが、参加者が伸びなかった理由をどのように考えているのか。また、事前のPR方法に問題はなかったのか。
 - 「落合恵子朗読とお話の世界」は有料で開催しており、有料の講演の場合どうしても集客が難しい側面がある。
 - 本事業は当初、市原悦子氏にお願いし決定していたが、健康上の理由から急遽俳優活動を休止することとなったため、代わりにスケジュールが合った落合氏の講演を実施した。朗読グループや文化団体へ呼びかけをしたが、PR期間が短かったため、参加者数が伸びなかったものである。
 - 1,200人入るところに497人しか入らなかったということだが、何人

くらいの参加を見込んでいたのか。また、人が入らなかったということで、この事業の収支が赤字になってくるかと思うが、この赤字分は誰が負担するのか教えてほしい。

→ この事業は自主事業ということで、委託事業ではないので指定管理料でやっている事業ではない。事業の赤字分は主催者となるアクティオ（株）が負担することになる。通常、講演会は無料であり、有料で行う講演会となると、かなり有名な方でないと難しいものとする。今回の497人という数字は、決して少ない数字ではないと考えている。

○ 自主事業の結果をしてみると全て赤字収支である。28年度も同様であったのか。

→ そのとおりである。

○ 自主事業の赤字については、指定管理者と話をしているのか。

→ 特にしていないが、今後、話し合いをしていくようにしたい。

○ 業務報告書49ページのリフレッシュルームの利用人数と業務計画書47ページの数字が同じだが、事業をより強化するというのであれば、来年度の数字を増やしたほうが良いのではないか。

→ そのように修正したい。

○ 業務報告書46ページのビデオ編集室、相談室の利用について、部屋の備品等の問題は理解しているが、民間ならではの利用向上の工夫はないのか。

→ ビデオ編集室にVHSをDVDにする機材を導入したので、今後は、一層映画を楽しむグループの利用が見込まれる。相談室については、女性の相談に利用されている。施設利用の相談においても利用されるようにしていきたい。

今後の部屋の在り方を、教育委員会として考えていきたい。

○ 全体についてであるが、30年度の業務計画において、これまで利用者から寄せられた要望に対応した取組や事業があったら教えてほしい。

→ 小ホール利用者用にブランケットを購入し、利用していただく。またチラシをより見やすくするために、チラシスタンドを増設したいと考えている。事業面では、障がいのある方に向けたコンサートや青年たちの演劇、あるいは小ホールのアナウンスボランティア向けの日本語を学習する事業などを計画している。

○ 窓口での対応で、要望、苦情が全くないことはないと思うが、窓口対応の研修であるとか、事務に関する研修であるとか、来年度に新たに取り組む予定はあるのか。

→ 接遇の基礎研修が予定されている。

○ 業務計画書13ページに人材育成があり、その中で個人情報取扱研修会に参加予定となっているが、この研修がどのようなものであるのかが分かっていたら、

教えてほしい。

- アクティオ（株）の社内研修で、来年度は3人の参加を予定している。
- 障がいのある方に向けたコンサートというのは、業務計画に載っているのか。
- 業務計画書59ページに「心のバリアフリーコンサート」が記載されている。
- 青年たちの演劇というのは、計画ではどこにあるのか。
- 業務計画書58ページに「市民と高校生による朗読劇」と59ページに「僕らで劇を作ろう」が記載されている。
- アナウンスボランティアに向けたものは、計画書のどこにあるのか。
- 業務計画書59ページに「美しい日本語を学ぼう」が記載されている。

<審議の結果>

野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館も指定管理業務については、業務自体は滞りなく行われていると認められるが、事業者と教育委員会との協議が、若干うまく行われていない部分がある。今後、教育委員会として、事業の中身、管理の中身を把握するよう努めることとし、平成29年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成30年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書について承認

3 閉会